令和５年度　家庭科　シラバス

科　目	家庭基礎	単位数	２	履修学年・クラス（講座）	１年・全クラス
使用教科書	「家庭基礎　自立・共生・創造」　（東京書籍）				
補助教材等	「家庭科ノート　豊かな生活を創造する」　（啓隆社）				

１　学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

２　学習方法等（授業担当者からのメッセージ）

○ 授業には集中して取り組み、提出課題は期日までに必ず完了する

○ 授業で得た知識を、実生活における観察・考察・判断に生かす姿勢を持つ

○ 他者の意見を尊重するとともに自己の考えを整理・表現し、他者と創造・実践しようとする態度を心掛ける

３　学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。
主な評価方法	定期考査 実習製作作品 学習ノート	学習ノート、レポート 定期考査 発言内容	学習ノート グループ学習の取り組み 発言内容

４　学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単　元	教　　材	時数	学　習　内　容	評　価　規　準
４ ５ ６	生涯を見通す 人生をつくる 子どもと共に育つ 衣生活をつくる	家庭科ノート	２０	青年期の課題 自分のライフスタイル 家族・家庭 家族と法律 心身の発達と保育 これからの子育て環境 被服の役割　被服の材料 被服の構成（被服製作実習）	基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている(a) 課題の設定と解決策の構想、実践の評価・改善、考察を論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている(b) 協同して課題の解決に主体的に取り組み、身の回りの生活を創造し実践しようとしている(c)
７ ８ ９ １０ １１	衣生活をつくる 食生活をつくる	家庭科ノート	２８	被服の構成（被服製作実習） 生活文化と被服 被服の管理 環境に配慮した衣生活 食生活の課題 食事と栄養・食品 食品の選択と安全 食事計画と調理の基礎（調理実習）	
１２ １ ２	食生活をつくる 超高齢社会を共に生きる 共に生き、共に支える 経済生活を営む 持続可能な生活を営む 住生活をつくる	家庭科ノート	２２	食事計画と調理の基礎（調理実習） 食料生産と食料問題 食の安全性の確保 高齢化の進行 高齢期の心身の特徴 社会保障の考え方 消費生活と意思決定 消費者の権利と責任 大量消費社会の限界 住居の機能 安全で快適な住生活の計画	